

五感に響く!

“初めて”は“楽しい”

# 革靴づくり体験

時間と手間をかける分、愛着いっぱいの一足に出会えます。



我を忘れ没頭する楽しさ

## どんな足にもフィットする

今回の体験場所は、京王線の仙川駅から徒歩9分の住宅街にある「関口善大靴工房」。木のぬくもりが漂う工房の中には、所狭しと色とりどりの革や靴、そしてさまざまな道具が並んでいます。そんな空間を見回しながら「すごいですねえ」と第一声を発したのは、品川区立大井第一小学校教諭の高橋直之さん。革靴づくり体験に応募した理由については「外反母趾気味で足幅もあるので、靴探しには苦勞が多くて。それで快適に履ける靴を作りたいと思ったんです」と話してくれました。

高橋さんの足のサイズと、作ってみたい靴の色やデザインは、あらかじめ工房に伝えてあり、靴職人歴17年の関口善大さんが必要なパーツを裁断しておいてくれました。「いい靴とは、履いている本人が快適であることだと思っています。今日作っていただくものは、比較的どんな足にもフィットする靴ですよ」と関口さんに言われ、高橋さんはすでにうれしそう。

## 最難関は「手縫い」の工程

高橋さんがつくる靴は、アッパー（外側部分）、中敷、中底（中敷きとソールに挟まれた靴の底部分）、ソール（地面と接地する部分）といったパーツにわけることができるタイプのもの。まずは、硬い革製のアッパーと中底を手で縫い合わせる時に、針がすんなり通るよう、ポンチで直径1.5mmの穴をあけていく作業です。あける穴の数は、片足につきアッパーと中底それぞれに80個ずつ。なかなかの数でしたが、高橋さんは手際よく作業を進めることができました。次に、「すくい縫い」という縫い方でアッパーと中底を縫い合わせていきます。関口さんの手本を真似ながら「難しい…」と呟く高橋さん。80個ある穴を1つ飛ばして縫ってしまうなど、関口さんに



助けを求める場面もちらほら。「わからないときに、すぐに先生を頼る生徒の気持ちがよくわかります」と苦笑する高橋さんでしたが、約3時間近くをかけて、この難所をクリアすることができました。

## 思わぬハプニング発生!

まだ2つ目の工程を終えたところですが、関口さんいわく「作業量としては7割が完了」とのこと。次は、中敷に好きな文字を印字します。高橋さんは、50音のひらがなゴム印で自分の名前（たかはしなおゆき）を一字ずつ印字することに。すると「あ!『ゆ』と『め』を間違えて『なおめき』にしてしまいました」と高橋さん。しかし「これも味かな?」と朗らかに笑い、あえてやり直すことはしませんでした。次に、大きめに裁断されたソールと中底を接着剤で貼り合わせ、ソールのはみ出ている部分をグラインダーで慎重に削ります。その後、削る際にできるバリ（加工面の不要な突起）を「へり落とし」と呼ばれる道具で削ぎ落とし、薬品で毛羽立ちを抑えればゴールは目の前。中敷を入れ、好みの色のひもを通して、ついに完成です。仕上がったばかりの靴を履いた高橋さんは「おしゃれだし、軽しい、何よりも足が楽です!」と達成感あふれる笑顔を見せてくれました。

これが靴づくりの醍醐味。2次元から3次元へ。



## 体験の手順

### 1 穴あけ



針を通す場所・ひも穴にポンチで穴をあけます。

### 2 手縫い



靴のアッパーと中底を手縫いでつなぎ合わせます。

### 3 印字



中敷に好きな文字を印字。一気にオリジナル感がアップ!

### 4 接着



ソールと中底を接着剤で貼り合わせます。

### 5 削る



ソールのはみ出した部分をグラインダーで削り取ります。

### 6 バリを取る



削る工程でできるバリ部分を「へり落とし」で取り除きます。

### 7 仕上げ



毛羽立ちを抑える薬品を指で塗りこみ、最終仕上げ。

### 8 ひも通し



自分好みの靴ひもを選びひも穴に通せば完成です!



### 体験してくれた方

品川区立大井第一小学校  
教諭  
高橋直之さん

自分の靴を作るためだけに自分の時間を費やすこと自体がとても贅沢な時間でした。久しぶりに一つのことを没頭した感じがします。今度は別のデザインの革靴づくりをしてみたいです!



### 教えてくれた方

関口善大靴工房  
靴職人  
関口善大さん

1日ワークショップには、お子さん用に作る方、大切な誰かのためにサプライズで作る方もいらっしゃいます。帽子もつくれますので、ご興味のある方は当工房のHPをご覧ください。

### 【協力】関口善大靴工房

レトロ調の工房で革靴好きの皆さんをお待ちしています。  
<http://zendai.jp/>



## 次号の参加者大募集

今回の体験は…「カーリング」です!

場所は長野県(軽井沢)を予定。安全に氷に乗る方法から、運び方、ブラシの扱い方などを体験していただきます。ぜひご応募ください!

応募方法 差込の編集担当宛てはがきにある【読者参加企画への参加希望】の欄にチェックを入れてご応募ください。

【応募締切】令和元年10月11日(金) 必着  
【体験時期】10月中旬~11月上旬(予定)